

## トルコ 旺盛な内需が核果類の輸出を抑制

[EUROFRUIT 2024年4月5日](#)

MDAアグロ社のムスタファ・アルスラン氏によると、トルコで生産されるモモ、ネクタリン、アンズ、スモモの品質は近年向上しているが、旺盛な国内需要が輸出を制限している

トルコの輸出業者MDAアグロ社のオーナーであるムスタファ・アルスラン氏は、今シーズンは、温暖な天候条件のため、トルコの核果類の果樹園では開花が早かったと述べている。(以下「」は同氏の発言)

「4月25日以降にフローレッド種のモモから出荷を始めたい。また、5月の第1週には、早生品種のネクタリンが良いスタートを切れることを願っている。」

開花期に悪天候に見舞われることがなかったため、同氏は今シーズンは品質が高いと予想している。

「5月中旬にはアンズのシーズンが続き、ミカド品種とモガドール品種、その後ニンファ品種とティリンティーナ品種が続く。メルスィン県とその周辺の出荷シーズンは6月末まで続く。スモモのシーズンは、6月上旬に輸出用のブラックスプレnder品種から始まり、8月中旬まで続く。」

昨年、トルコは約80万トンのアンズ、合わせて100万トン以上のモモとネクタリン、35万トンのスモモを出荷した。

「近年、弊社の契約農家は、施肥の適正化等により過剰なトン数の生産を避け、品質の向上と生産の効率化のために適切な灌漑と適切なタイミングでの薬剤散布を行うことで、より良い品質を実現し、より高い生産基準を満たしている。生産者と輸出業者は、非常に良好な協力関係の中で高品質の生産に焦点を当てることで、トルコの果実を成功裏に輸出し、近年すべての市場の消費者に高く評価されるようになった。」

しかし、ジャムや類似の製品の原料としてのアンズの人気、及びトルコの冷凍食品部門の成長に伴い、実際のところ輸出向けのアンズの供給は減少している。一方、同氏によると、夏季の国内外からの観光客の増加により、モモとネクタリンの国内消費量が増加しており、価格は良好な水準にとどまる傾向にある。

「これほど大量の生産量にもかかわらず、昨年の輸出は国内市場の需要増加と冷凍食品部門の成長の影響を受け、アンズの輸出量は約8万8千トン、モモとネクタリンは23万8千トン、スモモは3万5千トンであった。今シーズンも同量の輸出を見込んでいる。もし需要が高まり市況が好調であれば、トルコのモモとネクタリンの輸出量を30万トンに増やすことができるかも知れない。」

同社の核果類の主な市場は、ロシア、EU、英国、ウクライナのほか、近年同社の出荷が増加している東アジアである。「極東の需要は年々増加しており、同市場は弊社が狙う市場の第1位となっている。」

執筆者: トム・ジョイス